

大規模改修工事について

博物館の施設設備の長寿命化や展示環境・アメニティの向上を図る改修工事は、全4期の工区のうち第3工区の終わりに差し掛かっています（令和5年1月現在）。

1 工事のスケジュール（予定）

別紙参照

2 進捗状況

（1）工事の様子

第1工区・第2工区では収蔵庫、第3工区では展示室を中心に空調や防火、防災、防犯等設備の更新が行われたほか、照明LED化が進められてきました。収蔵庫では、屏風棚を新調し、多数の屏風を安全に収納できるようになりました。

また、外壁では劣化補修や洗浄が行われ、御影石の美しい色合いが再生されました。



更新後の空気調和設備（一部）



収蔵庫に新調した屏風棚



博物館の外観（令和4年4月）



博物館の外観（令和4年12月）
（外壁の補修・洗浄後）

(2) 工事に伴う資料の移動

収蔵庫の工事中も資料を適切に保管するため、工事の進捗に合わせて温湿度管理ができる部屋を館内で確保し、資料の梱包・移動作業を重ねています。



資料搬出後の収蔵庫の様子



収蔵庫の工事中に他室で保管した資料

3 今後の予定

令和5年3月から始まる第4工区では、ギャラリーやプレイミュージアム、レストラン等の設備更新・照明LED化等が行われます。また、企画展示室などの一部展示室に高透過ガラスを導入し、展示ケースが刷新されます。9月に全工事が完了予定です。

10月からは枯らし期間として館内の環境整備や空気の清浄化を行い、令和6年4月の再開に向けて、展示をはじめとする開館準備を整えていきます。